

項目	更新	No.	評価基準項目	評価項目/判定基準	申請書への記載項目	※「申請書への記載項目」に該当する内容 記載内容または記載箇所 (ファイル名、シート名、ページ等)	質問事項等	評価結果	評価コメント	評価内容改善案等
試験文書類への要求事項										
2.1 試験文書類に適用される評価基準										
2.1.2 内容に対する要求事項										
		1	試験文書類として、次の点で作成されていること。 ・試験計画書 ・試験説明 ・試験結果 ・試験文書類を構成する全ての文書の一覧	提出された全ての試験文書類で右記を満たすこと	各文書の名称は問わず、要件が満たされていればよい。 試験文書類の一覧は、各文書の名称と識別子が記載されていること。	a)試験計画書 ⇒ 要件定義書 b)試験説明 ⇒ 単体試験仕様書、結合試験仕様書 c)試験結果 ⇒ 単体試験仕様書、結合試験仕様書				
		2	試験文書類にはそれぞれ下記項目が明記されていること。 ・文書名 ・識別子 ・改版履歴 ・目次又は内容の説明 ・試験文書類内で参照している文書の識別子 ・文書の作成者、作業実施者 ・(任意項目)用語集	提出された全ての試験文書類で右記を満たすこと	試験計画書、試験説明、試験結果及び試験文書類の一覧において、以下に該当する項目が記載されていることを確認。(名称は問わず、要件が満たされていればよい。) ・文書名 ・識別子 ・改版履歴 ・目次又は内容の説明 ・試験文書類内で参照している文書の識別子 ・文書の作成者、作業実施者 ・(任意項目)用語集	a)文書名 ・単体試験仕様書 ⇒ 各機能毎に文書を分け一意の名前を付与 ・結合試験仕様書 ⇒ 試験パターン毎に一意の名前を付与 b)製品の識別子 ・フォルダ名で管理 c)改良履歴、または文書の変更履歴 ・要件定義書以外は、変更履歴なし d)目次又は内容の説明 ・目次無し、内容は各試験仕様書に記載 e) 文書の本文で参照されている文書の識別子 ・文書ファイル名を記載 f) 作成者及び検査者に関する情報 ・各試験仕様書に記載 g) 用語集 ・なし				
2.3 試験説明に関する評価基準										
2.3.1 テストケース説明										
		1	試験説明は、それぞれ下記のテストケースが記載されていること。 ・一意の識別子 ・テストケースの目的 ・試験に対する入力データおよび試験の境界 ・試験実行のための詳細な実行手順 ・期待結果となる出力 ・結果を解釈するための基準、結果が良いか悪いかを判断するための基準 ・(任意項目)必要に応じ、試験計画書に対する追加情報	提出された全ての試験説明で右記を満たすこと	試験説明において、以下に該当する項目が記載されていることを確認。(名称は問わず、要件が満たされていればよい。) ・一意の識別子 ・テストケースの目的 ・試験に対する入力データおよび試験の境界 ・試験実行のための詳細な実行手順 ・期待結果となる出力 ・結果を解釈するための基準、結果が良いか悪いかを判断するための基準 ・(任意項目)必要に応じ、試験計画書に対する追加情報	・一意の識別子 ⇒ 各試験仕様書の試験項目毎に項番を採番 ・テストケースの目的 ⇒ 各試験仕様書に記載 ・試験に対する入力データおよび試験の境界 ⇒ 各試験仕様書に記載 ・試験実行のための詳細な実行手順 ⇒ 各試験仕様書に記載 ・期待結果となる出力 ⇒ 各試験仕様書に記載 ・結果を解釈するための基準、結果が良いか悪いかを判断するための基準 ⇒ 各試験仕様書に記載 ・(任意項目)必要に応じ、試験計画書に対する追加情報 ⇒ なし				
2.4 試験結果に関する評価基準										
2.4.1 試験実施報告書										
		3	試験実施報告書は、個々のテストケースに対し、下記が含まれていること。 ・テストケースの識別子 ・試験実施日 ・試験実施者 ・テストケースの実行結果 ・発見された不具合の一覧と、対応する不具合報告書への参照項目	提出された全ての試験実施報告書で右記を満たすこと	試験実施報告書において、個々のテストケースについて、以下に該当する項目が記載されていることを確認。(名称は問わず、要件が満たされていればよい。) ・テストケースの識別子 ・試験実施日 ・試験実施者 ・テストケースの実行結果 ・発見された不具合の一覧と、対応する不具合報告書への参照項目	a) テストケースの識別子 ⇒ 各試験仕様書に記載 b) 試験実施日 ⇒ 各試験仕様書に記載 c) 試験を実行した人の氏名及び職務 ⇒ 各試験仕様書に記載 d) テストケースの実行結果 ⇒ 各試験仕様書に記載 e) 発見された不具合の一覧 ⇒ システム(Redmine)で管理(バグ、進捗管理システム) f) 個々の不具合について、対応する不具合報告書への参照 ⇒ Redmineで管理				
2.4.2 不具合報告書										
		2	不具合報告書は、個々の不具合の説明に対し、下記が含まれていること。 ・不具合の識別子 ・ソフトウェアの識別子 ・不具合の記述 ・不具合が発生した試験項目の箇所 ・不具合の再現性 ・不具合の相対的評価 ・(任意)優先度 ・不具合の性質 ・不具合の修正内容	提出された全ての不具合報告書で右記を満たすこと	不具合報告書において、個々の不具合の説明について、以下に該当する項目が記載されていることを確認。(名称は問わず、要件が満たされていればよい。) ・不具合の識別子 ・ソフトウェアの識別子 ・不具合の記述 ・不具合が発生した試験項目の箇所 ・不具合の再現性 ・不具合の相対的評価 ・(任意)優先度 ・不具合の性質 ・不具合の修正内容	a)不具合の識別子 ⇒ Redmineのチケット番号で管理 b)ソフトウェアの識別子 ⇒ Redmineの対象「バージョン番号」で管理 c)不具合の記述 ⇒ Redmineの「説明」で管理 d)不具合が発生した試験項目の箇所 ⇒ Redmineの「説明」に記載 e)不具合の重大度と再現性 ⇒ Redmineの「説明」に記載				

	4	<p>不具合報告書の修正内容の記述は、それぞれの修正について、下記が含まれていること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修正の識別子 ・修正日 ・修正者 ・修正による改良に識別子 ・修正により予想される影響 ・修正者によるコメント 	<p>提出された全ての不具合報告書で右記を満たすこと</p>	<p>不具合報告書の修正内容に記述において、それぞれの修正について、以下に該当する項目が記載されていることを確認。(名称は問わず、要件が満たされていれよよい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修正の識別子 ・修正日 ・修正者 ・修正による改良に識別子 ・修正により予想される影響 ・修正者によるコメント 	<ul style="list-style-type: none"> a) 修正の識別子 ⇒ Redmineのチケット番号で管理 b) 修正日 ⇒ Redmine上のステータスと更新日で管理 c) 修正者の氏名 ⇒ Redmine上の担当で管理 d) 修正に対応する改良の識別子 ⇒ Redmine上の状態で管理 e) 予想される修正の影響 ⇒ Redmineの「説明」に記載 f) 修正者の記述し得るコメント ⇒ Redmineの「コメント」で管理 				
	6	<p>不具合報告書の、不具合に対する再試験の記述は、試験結果に下記が含まれていること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検証の識別子 ・検証日 ・検証者 ・検証に使用された試験項目 ・検証結果 	<p>提出された全ての不具合報告書で右記を満たすこと</p>	<p>不具合報告書の不具合に対する再試験の記述について、以下に該当する項目が記載されていることを確認。(名称は問わず、要件が満たされていれよよい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検証の識別子 ・検証日 ・検証者 ・検証に使用された試験項目 ・検証結果 	<ul style="list-style-type: none"> a) 検証の識別子 ⇒ 各試験仕様書に記載 b) 検証日 ⇒ 各試験仕様書に記載 c) 検証者の氏名 ⇒ 各試験仕様書に記載 d) 検証に使用された試験項目 ⇒ 各試験仕様書に記載 e) 検証結果 ⇒ 各試験仕様書に記載 				